

諮問事項 ～新しい生活様式を踏まえた狛江市立公民館事業のあり方について～

ソフト面 制度やサービスに関すること	ハード面 設備や備品に関すること	事業面 教室や講座に関すること
特別申請もWebで	Wi-Fi環境を整える 1時間→せめて4～5時間使用可能にする	講演会はWebで (Zoom等) 集まらなくても出来る事業の検討
予約はWeb	オンライン会議室・個室対応 →コロナ禍で、オンラインでつながる重要性を実感 必要不可欠	興味ある団体とオンライン懇親会、懇談会 オンラインで団体同士が交流できる場の提供
調整会の廃止	テレワーク用個室 (仕切りでもOK)	リモートでのお料理教室 材料は個人で準備 学校の家庭科室のような空間
利用時間 (区分) の変更 3→4 区分を細かくすることで、予約枠を増やす	自由に使えるパソコンで学習 問題集を解く形式 時間制あり 児童・生徒が公民館に来て集中して勉強できるような空間	中央公民館よりライブ配信できる新事業 例 狛江の歴史と観光案内をする (歴史専門家の起用)
フリースペースで交流 クッキー・ケーキ・飲物を常時用意してフリー交流を図る	動画配信できるようなスタジオを設ける	中央公民館と西河原公民館をライブでつなぎ様々なコーナー同士を紹介 し合いながら楽しむ 例) 日本語教室と連携した国際交流
フリースペース 学習室として	親子で楽しむビデオライブラリールーム	サイエンス事業充実 (例 理科室を設ける)
絵手紙コーナーをオープンし、自由に描いてポストに!!	本館1F2Fの展示ケースを活用して、学生に対する物理の設問コーナー 例 多摩川が地球全体の水の量になるための必要な年月とは?	市の将来像や予算、財政等をテーマとした検討会や座談会の開催 →市民の市政への関心を促進
電子図書館の充実・大人はWebで好きなページを手軽に読む 児童については、絵本など製本された本に直接触れてもらうことも大切	避難所、避難者である市民が参加する防災訓練 (災害時、避難所運営協議会が機能しない可能性も見込んで)	多摩川土手ウォーキング
「公民館」という固いイメージからの脱却		市内の郵便局めぐり
		学芸員とのコラボ事業 例 市に博物館がないので、企画展を開催することで機能を補う
		狛江の史跡めぐりをしよう!!
		狛江の神社巡りをしよう!!
		世にジャストフィットの事業 例 スマホの使い方講座等
		いやしの空間・時間・仲間 (3間) のある事業 例 公園にパラソルを設置して、自由に集まる空間を演出
		外国人が主体となり、事業・交流を図る 外国人が自ら考え、やりたい企画を実施する
		西河原公園で自由発想広場の設置 集まった人々が語り合ったり、軽食 が食べられたりする (子ども食堂や、福祉関連団体とも連携)
		テーマを設定し、各小学校、中学校の生徒に来てもらい討論会を開催 生徒同士の交流にもつなげる
		産・学と協力事業 公民館だけではなく、民間企業や学校と連携した事業を展開
		市内在住の著名人との座談形式の講話会